

## 令和元年度使用教科用図書の採択結果と採択理由

教科 [ 道 徳 ] 種目 [ 道 徳 ] 発行者 [ 東京書籍 ]

### 1. 教科・種目にかかわる本校の生徒の実態・課題，指導の重点等

本校の生徒は，個人で自分の考えをもち，その後，他の人の意見を自分の考えと照らし合わせながら聞いたりする班活動を通して，さまざまな考えに触れることで，ねらいとする価値をさらに深めたり，新たな考えをもつことで，これからどのような生き方をしていけばよいかということを考えることができている。しかし，考えるに留まり，実際に行動に移せている生徒は少ない。そこで，道徳科の目標である道徳的諸価値の理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，人間としての生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる必要がある。

### 2. 教科書の特徴

日常に近いものから，人の力強い生き方を扱ったもの，人間の力を超えた自然の大きさに触れるものなど教材が幅広く充実しており，生徒が自らのこととつなげて主体的に考えられること，あるいは多面的・多角的な視点から学び合うことができる学習を想定して作成，編集されている。特に，「いじめ」と「生命尊重」については，複数教材を組み合わせたユニット構成になっており，内容項目をさらに深めて考えることができるようになっている。また，役割演技や体験的な学習を主体としたグループエンカウンターのパージもあり，教材と併せて行うことで，ねらいをさらに深めることができるようになっており，今回の学習指導要領改訂における「主体的・対話的で深い学び」の実現に，より効果的なものとなると考える。

以上のことから，東京書籍の教科書は，本校の実態や生徒の状況に対応することができるものである。